

駒澤大学心理学研究室創設 50 年に寄せて

駒澤大学名誉教授 小野 浩一

On the 50th anniversary of Komazawa University Psychology Department

駒澤大学の心理学研究室は、1968年（昭和43年）の大学院修士課程の開設、そして翌1969年の文学部社会科学心理学コースの設置、続く1970年の博士課程の開設という一連の過程にその端緒を求めることができる。修士課程の開設から数えると現在、創設51年目、ちょうど半世紀が過ぎたわけである。ここに到るまでの間には、大学、教職員、卒業生、その他多くの方々の力強い励ましがあった。駒澤大学心理学科教員OBとして、陰に陽にご支援を賜った多くの皆様に衷心より御礼を申し上げる次第である。

50年という年月は日本の心理学の足跡から見ると必ずしも長いというわけではない。日本で最初にできた心理学の研究教育機関は1905年に東京帝国大学哲学科内に設置された「心理学専修」である。そして、1919年施行の大学令を機にその後数年の間に国立、私立合わせて20校を超える大学に心理学科（あるいはそれに類する名称の組織）や心理学研究室が設置されている。つまり、駒澤大学に心理学研究室ができた頃には、これらの先発組の心理学科はすでに50年を迎えていたのである。

このような歴史的な観点から見ると、100年前の初期とその50年後では、心理学の研究教育機関を設置する目的や役割は異なっている。初期の目的は西欧で開花した科学的心理学の日本への移入、定着そして研究地盤の拡大であった。心理学は新しい学問として着実に成長し、第2次世界大戦後には技術革新や周辺諸科学の発展に伴って多様化を増し、教育、産業、福祉、臨床など人間社会全般の問題解決を担う現代的心理学へと変貌した。

そのような時代的背景の中、1960年代の前半に日本の心理学の創成期を担ってきた8大学の研究者達によって文部省科学研究費による総合研究「禅の医学的・心理学的研究」が行われた。この総

合研究の後、「禅の心理学的研究」のさらなる継続の必要性を訴えたのが、総合研究の主要メンバーでもあった当時九州大学教授の秋重義治先生であり、その情熱を受け止め、その研究拠点として設置されたのが「駒澤大学心理学研究室」なのである。

駒澤大学心理学研究室の創設から30年までの詳細については、「駒澤心理学論集」第1号の特集記事「心理学研究室30年の歩み」に詳しい。「禅の心理学的研究」は10年にわたって継続され、その役目をほぼ終了した後、駒澤大学の心理学は新たなスタートを切った。年報を見ると駒澤大学の心理学の研究や教育が時代のニーズに合うように、教育内容や設備を充実させ社会に大きく貢献してきたことがよくわかる。創設30年の1998年（平成10年）に「社会科学心理学コース」は「文学部心理学科」となり、それからさらに20年が経過したことになる。心理学科の20年については、本論集で詳しく紹介されることであろう。

この50年という年月は、日本の心理学界が資格制度の制定に向けて模索を続けた期間でもあった。資格制度が心理学界にとって重要なことではあることは言うまでもない。しかし、一方で心理学関係者はそれへの対応に翻弄されてきたといっても過言ではない。統一した資格制度についての心理学界内の意見がまとまらない中、各学会や組織による個別の資格が乱立した。その後資格制度は、1988年の「臨床心理士」の誕生で大きく動き、さらに臨床心理士については、1996年の指定大学院制の導入で心理学界に一層の混乱をもたらした。臨床心理士（2018年4月1日現在で34,504名）が社会に認知され、一定の成果が上がるようになってきた時、ようやく国家資格としての「公認心理師」法案が2015年に国会で承認され、昨年の秋には35,020人が受験した第1回試験が実施され、27,876人の公認心理師が誕生した、という

次第である。

こうした状況の変化の中で、心理学界は研究機関、教育機関、あるいは臨床の場において自分たちは何をどうすべきかということを自律的に考えること、つまり、自分たちのアイデンティティを探ることを怠ってきた感がある。資格制度が一段落した今こそ、心理学の研究教育機関はその真価が問われるだろう。それぞれの特徴を一層明確にし、質の高い研究や教育、そして人材を社会に提

供し、貢献しなければならない。駒澤大学の心理学は、東洋的な心や身体の統御を科学的に研究する機関としてスタートした。50年後の今、マインドフルネスや瞑想について世界中の多くの人が注目する時代になっているのも因縁めいた話である。これから先も時代に先立つ先端的な研究が発信され、若者が学びたいと感じる魅力的な学科であることを願うとともに、駒澤大学心理学研究室のますますの発展を期待したい。